



コンパクトシティ政策の現状と今後
片貝 喜一郎
(新風会)

質問 国が示すコンパクトシティ政策の考え方は。また、それに基づく高崎駅周辺の町づくりと取り組みは。

回答 医療、商業施設、住居等を集中して立地させ、公共交通と連携させていくコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方で、本市もこれに基づき、高崎駅周辺にアリーナや商業施設を集積している。また、中心市街地の人口増加を図るため、従来の建築規制を緩和する市独自の居住誘導策を実施している。



質問 小売業者者に対する支援や今後の方針は。

回答 市内での新規創業や店舗の取得に必要な設備資金などに対する各種融資制度のほか、個店を支援するまちなか商店リニューアル助成により空き店舗への新規出店が増加し、市内商業の活性化につながっている。また中心市街地の空き店舗情報を定期的に把握し、その情報をホームページで発信している。今後、もさらなる市街地活性化を図りたい。



新規就農促進対策
清水 明夫
(新風会)

質問 本市の新規就農を促進するための施策は。

回答 県、農業委員会、農協と連携して農業経営意向確認のための新規就農相談カードを作成し、情報共有している。また、50歳未満に対して、年間150万円を最長5年間支給する農業次世代人材投資事業や、大規模商業店舗への販売活動

質問 近年の免許返納者数の推移と返納者への本市の取り組みは。

回答 平成28年が853人、29年が968人、30年が



本市の防災
荒木 正一
(市民クラブ)

質問 本市の救済物資や人的支援の受け入れ、集積拠点の対応方針は。

回答 ライフラインの機能停止により備蓄品で充足できない場合は、協定した自治体や事業者等に要請し物資を確保する。また、総合卸売市場を第一集積拠点とし、協定している運送事業者やトラック協会高崎支部と支援物資の荷捌きや配送などを実施する計画である。人的支援については、適時適切に受け入れ、市民生活の早期復旧に努めたい。

質問 自家用車で避難して他の市の被災者を受け入れる考えは。

回答 広域的な避難には、行政のバスによる移動が想定されるため、避難施設の選定は避難者の収容スペースだけでなく、駐車スペースも考慮することが重要である。一方で、自家用車での避難も想定されることから、駐車スペースの指定を含めた事前の確保対策について、他の事例等を参考に研究したい。



榛名湖周辺の諸施策
長壁 真樹
(新風会)

質問 湖畔亭を改修し、文化芸術の振興や榛名湖周辺の活性化を目的に、アーティストの作品制作などの場として提供する。表現ジャンルは問わず受け入れ、詳細が固まり次第、利用者の募集をインターネットやS

回答 湖畔亭を改修し、文化芸術の振興や榛名湖周辺の活性化を目的に、アーティストの作品制作などの場として提供する。表現ジャンルは問わず受け入れ、詳細が固まり次第、利用者の募集をインターネットやS

質問 レイクサイドゆうすげ跡地のグラウンドゴルフ場の整備内容と今後の予定は。

回答 天然芝のグラウンド

1198人と、3年間で約1.4倍に増加した。返納者への支援は、バスカードやタクシー券の配付、また、運転経歴証明書の提示によ



学童保育の現状と諸課題
倉賀野 古商家 おもてなし館
(新風会)

質問 支援員確保の方法と放課後児童クラブへの支援策は。

回答 各クラブでは支援員の確保に苦慮していると認識しており、各クラブからの要請に応じ、広報高崎に募集記事を掲載している。今後は、ハローワークなどへの協力依頼や退職予定の保育士や教員が再度活躍できる仕組み作りなど、支援員の確保に向けて必要な対

る協力店舗でのサービスと市内循環バスが半額となる制度がある。今後、も新たな支援策を研究したい。



質問 おもてなし館の利用状況や目的の達成状況は。また、他自治体との連携は。

回答 平成27年7月の開館



子育て支援
堀口 順
(市民クラブ)

質問 産後うつへの本市の支援は。また、今春より発売開始となった液体ミルクは、災害時のみならず母親の育児軽減に有効で、働き方にも好影響を与えるものと考えますが、本市の活用は。

回答 来年度から、産後2週間健診や1カ月健診の2回分の費用を助成し、産後ケア事業と合わせ、産後うつの予防に努めたいと考えている。また、液体ミルクは粉ミルクに比べ簡単に授乳できるため、母親以外の家族が育児に参加するきつ

から本年7月末までの来館者数は10847人で、街道沿いに休憩所があることで安心してまち歩きができるという評価を得ている。地域との交流イベントにも大勢の人が参加し、観光客の利便性の向上や地域の憩いの場としての役割を果している。また、宿場町として栄えていた市町村と情報交換を行い、今後も認知度や利便性の向上に努めていく。



質問 産後うつへの本市の支援は。また、今春より発売開始となった液体ミルクは、災害時のみならず母親の育児軽減に有効で、働き方にも好影響を与えるものと考えますが、本市の活用は。

回答 当初予算と9月補正予算を合わせ、約6億4千万円を計上しており、本年度の市負担分は国から補填される予定である。次年度以降は、無償化前の負担分と無償化分を含めた一定の負担が市に求められている。



倉賀野おもてなし館



本市における防災・減災対策
中村 和美
(公明党)

質問 被災者が安心して生活できる避難所が必要であるが、本市の避難所運営マニュアルの作成状況や避難所の環境改善対策は。

回答 平成29年に避難所運営マニュアルを全町内会に配付し、自主防災組織を中心に地域の実情に合ったマニュアルに修正して活用するよう周知している。また、本市は災害時の資機材の供給に関し、さまざまな団体

質問 令和2年度に解体工事、3年度にコース整備を開始し、4年度の完成を予定している。

回答 今後、令和2年度に解体工事、3年度にコース整備を開始し、4年度の完成を予定している。

質問 昨年改定されたハザードマップの工夫点は。

回答 市内を5つの地域に分け、それぞれ1枚の地図形式とすることで、地域全体の洪水浸水想定区域や避難すべき方向の把握を容易にした。また、家屋倒壊等氾濫想定区域を新たに地図上に表示する上で、斜線やドットを使用し、分かりやすさを重視した構成とした。



高齢者のお出かけ支援
丸山 芳典
(新風会)

質問 本市の高齢者買い物支援にはどのような施策があるのか。

回答 高齢者の見守りを兼ねた移動販売事業、ボランティアが店舗への送迎を行う倉洲地域高齢者買い物支援事業、高齢者等買物代行事業、町内会が実施主体となり運営する高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の4事業がある。

質問 高齢化率の高い倉洲地域における高齢者買い物支援事業の概要は。

回答 公共交通空白地有償



避難所開設運営訓練